

校長の話

校長 上村 哲也

23日間の少し短い夏休みが終わり、2学期を無事に迎えることができました。

1学期の終業式の時、「新型コロナウイルス感染症と正しく向き合い、新しい生活様式がしっかり身につくように努力し、楽しい夏休みを過ごしてください。」と、話しました。夏休み中、大きな事故やけが、病気をすることなく、健康で生活を送り、そして、今日、こうして元気に登校できたこと、すばらしいことであり、とてもうれしく思います。

さて、今日から2学期が始まりました。学校生活の中では、一つの大きな「節目」（ふしめ）となる日です。節目とは、物事における「区切りとなる大切なところ」を意味します。節目である今の新鮮な気持ちを大切に、これからの話を聞いてください。※



今年の2学期のスタートは、これまでと少し違うところがあります。1学期の通知表が、今日、担任の先生から渡されます。通知表には、みなさんの学習の様子、先生方がとらえたよさやもう少し頑張ってもらいたい事などが記してあります。

まずは、今日、通知表をしっかりと見て、自分をよく知り、2学期のめあてづくりに役立ててほしいと思います。

今日から始まる2学期は、一番長い学期です。学校へ登校する日が84日あります。1学期は、とても急ぎ足での学習となりましたが、2学期は、自分の考えをしっかりと持ち、友だちと意見を交わし合い、学び合う学習が多くなります。その中で、「できた喜びやがんばった満足感」をたくさん味わってほしいと思います。

また、運動会、校外学習や修学旅行、書道展や美術展など、たくさんの大きな行事が予定されています。今から楽しみにしている人もたくさんいることでしょう。色々な活動を行う中で、友だちと協力したり譲り合ったりしながら「みんなで力を合わせる楽しさ」を十分に感じてほしいと思います。

そのためには、自分から進んで参加することが大切になります。思い切ってチャレンジし、もっている力をどんどん伸ばしてほしいと思います。わたしたち職員も、そのようなみなさんの成長を楽しみにしています。



※「節目」という言葉は、もともとは「材木の節があるところ」の意味ですが、「区切りとなる大切なところ」をたとえる言葉としても使われるようになりました。「節」は樹木が成長していく中で、元々あった枝が木の中に巻き込まれることで生まれます。